

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 23日	～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 48	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日	～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の専門性を活かし、お子さんの特性に合わせた療育を行っていること	定期的に事業所内で検討会を行う時間を確保し、療育の内容の共有と質の向上に努めている。	職員の専門性を高めるために必要な研修等の取り組みの充実を図ることが必要である。
2	個別指導と保護者面談を行うために必要な職員体制をとっていること	スケジュール確認の度に職員間で担当者を確認し、公平に担当者が割り振られるようにしている。	保護者同士の情報交換、交流を図るためのプログラム、部屋の使い方の工夫が必要である。
3	難聴に特化した療育プログラムを有し、法人内の耳鼻咽喉科クリニックとも連携をしていること	通所児の医療情報を必ず確認し、連携機関とのカンファレンスを行っている。	聞こえや補聴状態をより細やかに把握し療育に反映させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導室が開放された空間のため、周囲の音・視覚刺激をこどもが気にするという保護者からのご指摘が多い。	個室の数が少なく、広い指導室を使用せざるをえないこと。	間仕切りの活用、机と椅子を設置する向き等、個別指導に適した空間の使い方の工夫に努める。
2	希望する曜日・時間帯に予約が取れないというご指摘が多い。	特定の曜日、時間帯に希望が集中しており、公平にご利用いただくための調整に苦慮している。	空きが出た場合の振替のご案内を充実させる。
3	非常時の対応について全ての利用者への周知が不十分であること。	個別療育を基本としているため、非常時の訓練は全ての利用者を対象とすることが難しい。	非常時の対応について全ての利用者に向けた定期的な情報発信の仕方を工夫する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ
------	----------------------

公表日 2025年 2月 28日

利用児童数 48 2024年 12月 23日 回収数 39

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	11	3	2	・防音対策がされた環境(個室等)が十分ではない。 ・防音性のある個室などが複数あればなお良いと思います。 ・活動内容によってはもう少しスペースがあると良いと思う時があります。運動中にぶつかりそう。 ・個別指導で十分なスペースが確保できています。 ・個々に部屋が分かれていて、また清潔に保たれています。 ・部屋の中に入ったことがないのでわからない。	国の基準に沿っていますがスペースの使い方の工夫に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1	0	4	いつでも相談できる先生方がいてくださるのがありがたいです。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	8	4	3	・療育中は静かであるが、オープンスペースで活動する時は周囲を大人が歩いたり、事業所の人の出入りや次の時間の人が入って来るため少し落ち着かないようにも感じる。しかし子どもは集中して取り組んでいると思う。 ・防音対策がされた環境(個室等)が十分ではない。 ・たぶんわかりやすくなっていると思いますが入ったことがないのでわからない。	国の基準に沿っていますがスペースの使い方の工夫に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	5	3	1	・メインの部屋が入口ドアに面していたり、カーテン越しに職員の方の作業スペースがあったりで子どもが集中しづらい。清潔感は問題なし。 ・入れ替えて消毒も必ずしてくださっています。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	3	0	0	・発音に難があるが、学校と同じように先生が子どもの様子に合わせて訓練に一生懸命取り組んでくださっているので感謝しています。 ・本人に合わせた内容を考えてくださっています。 ・保護者への聞き取りもこまめで、支援内容にもすぐに反映してくれます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	3	1	3	しっかりあっています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	34	4	1	0	話を聞いてくださりいつも有難いです。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	3	1	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	2	1	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	4	2	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	12	16	・特に求めていない。 ・難聴児に特化した放課後デイサービス	事業所全体として交流の実績はありませんが、ご希望を伺ったうえで企画を検討していきます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	3	1	3			

放課後等デイサービス

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	2	5	4		十分な説明に努めています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	6	4	10		事業所全体としての実施はありませんが、ご希望を伺ったうえで企画を検討していきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	33	4	2	0		・補聴器や人工内耳についての些細な質問も、気軽に相談出来るので本当に助かっています。 ・現状も状況の変化もよく理解してくれています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	4	3	4		・先生方からの助言により、気付きをいただくことが多いです。担当の先生だけでなく、他の先生からも助言をいただくこともあり、職員全体で子どもを見ていただいていると感じ感謝しています。 ・必要があるときは都度相談させていただいている。	機会を充分作ったうえで話ができるよう一層努めています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	3	1	2			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	7	7	15		特に求めている。	事業所全体としての実施はありませんが、ご希望を伺ったうえで企画を検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	3	3	5			
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	4	2	1		・急に普段の担当と別の担当が変わることがあってその説明が無かったし、理由も分からなければ、子どもにも説明はないし、子どもも親も困惑するし、一体何なのか。普段の担当が休みなら分かるがそうでない場合がある。普通に理由を話して。 ・直接、電話での連絡相談だけでなくLINE対応もありとてもありがたい。時間等気にせずに連絡ができる。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	6	1	12			より一層の情報発信に努めています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1	2	1			
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2	4	24		通所頻度・滞在時間が短いため訓練に遭遇したことはないが、マニュアルは最初にもらった記憶がある。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	5	27		通所頻度・滞在時間が短いため訓練に遭遇したことはないが、マニュアルは最初にもらった記憶がある。	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2	3	21			
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	4	23		実際に事故はないが、そういった事態が起こった場合は連絡・説明してくれるものと信用している。	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	37	1	0	1			
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	13	0	1			
	29 事業所の支援に満足していますか。	35	4	0	0		今後も通いたいです。いつもお世話になりありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ				公表日	2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3	・グループはスペースに見合ったプログラムの工夫をしている。 ・人数に対して十分な広さがある。	・職員の事務スペースが狭い。 ・日によって御希望にそえないことがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	十分な人数である。	担当ケース数が1日のうちに集中しないことが望ましい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	5		・全体的なスペース不足。 ・その日の利用場所、待機場所が利用者自身にも視覚的にわかる方がよい。 ・そもそも設計の際に本施設の使用はなかった。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	3		・そもそも設計の際に本施設の使用はなかった。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個室が用意されている。	・ゆずりあってなんとか ・今の状況では厳しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		定期的なミーティングは意見交換の公式な場となっている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5		よく把握できていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1		・土曜日研修の機会が多いが勤務があり参加できない。 ・時間が無い。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	相談に乗ってもらっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	説明が必ずある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	先生と話す機会がある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	書面でもらっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		事業所内で共通化されたツールが一部の利用者に限定されている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	イベントなどは事前にミーティングを重ねている。	

放課後等デイサービス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・季節に合わせたイベント活動を行っている。 ・多様なプログラムが考えられている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1		・療育の時間によってはできない場合もある。 ・イベント後は振り返りを行っている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	3	保護者を通して。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5	・必要に応じて。 ・該当の利用者がまだいない。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2		実感がわからない。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10		今のところ参加していないのでわからない。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	話す機会がある。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1		
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		

放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	詳しい説明を受けている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	必要なことは相談できている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	4		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	6		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	食物の提供はありません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	6	身体拘束の必要な子はほとんどいない。療育中は保護者が同席しているので。		